

ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム

- 第10回会合の概要について -

第10回(6月23日(火)) テーマ:「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム『提言』とりまとめ」

6月23日(火)に「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」としての提言がとりまとめられた。

提言においては、時代の変化により「家庭」「地域」「職域」が果たしてきた結婚(縁結び)機能や子育て支援機能が低下したために、社会全体の仕組みとして、子育てセーフティネットを強化し、再構築する必要がある、とされている。

また、我が国のこれまでの子どもや家族、若者をめぐる政策に対しては、関心(合意)がない(子育て当事者だけが苦しんでいる)、広がりがない(対処療法だけでは不十分)、財源が足りない(家族関係施策への予算が不十分)の3点が足りないことが指摘され、そのために国民すべての“みんなの少子化対策”を目指す、ライフサイクルを通じた総合的な支援を目指す、未来の子どもたちのためにはみんなで負担を分かち合う(消費税率1%分を子どもたちのために)、ことが提言された。

更に、具体的な施策の方向性として、これからの少子化対策に対する「10の提言」がなされたほか、幅広く国民に向けての“みんなの少子化対策”のためのメッセージが示された。